

～水と緑の市民の森をめざして～

三角島ふるさとの森プロジェクト

雄大な北アルプスの麓、連続テレビ小説「おひさま」の舞台にもなった“あづみの”。安曇野市穂高の万水川（よろずいがわ）沿いにある通称・三角島は、清流と緑にあふれた豊かな自然環境を有しています。黒澤明監督の映画「夢」に使われた水車小屋や柳の大木がある三角島の風景は、地域の人々や年間119万人にもものぼる観光客からも愛されている場所です。

平成16年の台風16号により万水川が氾濫し復旧対策が河川管理者である長野県により計画されました。その際に、安曇野の景観と環境を損なうことが無いよう団体の前身である「万水川水車小屋周辺の景観を語る会」が設置され、市民参加による景観の議論や現地視察とともに、県との意見交換が開始されました。その後、平成21年3月の本体工事の完了を経て当プロジェクトが立ち上がりました。

設立にあたり県・市と河川アダプトプログラムを締結しており行政との連携を密にしながら継続的に活動を進めています。アレチウリ（外来種）の駆除といった自然環境の保全活動や、柳の木の植樹祭、緑と水に親しむ集い（水生昆虫の観察会）等の自然や水に親しむ活動など、多様な活動を実施しています。

活動開始より年間概ね6回程度の活動を一般市民の参加を得ながら進めており、活動内容が地域に浸透し支持されていることが伺えます。

また子供たちが活動に参加することで環境教育にもつながっています。

現在では、環境保全団体等からなる「安曇野環境市民ネットワーク」に加入し、環境学習プログラムの企画や、地域に貢献できる人材の育成等について他団体とも連携を図るなど積極的な活動を展開しています。



草刈り・清掃活動



水生昆虫観察会



三角島自然観察会



緑と水に親しむ集い

- ◆所在地
長野県安曇野市穂高地内
- ◆活動内容
草刈り・清掃活動、アレチウリ駆除活動、緑と水に親しむ集い
水生昆虫観察会 三角島を描く集い 自然観察会 など
- ◆活動主体及び連絡先
三角島ふるさとの森プロジェクト（0263-83-2318）
※功労者名：場々 洋介（三角島ふるさとの森プロジェクト リーダー）
- ◆対象となる社会資本
一級河川 信濃川水系 万水川 三角島

